

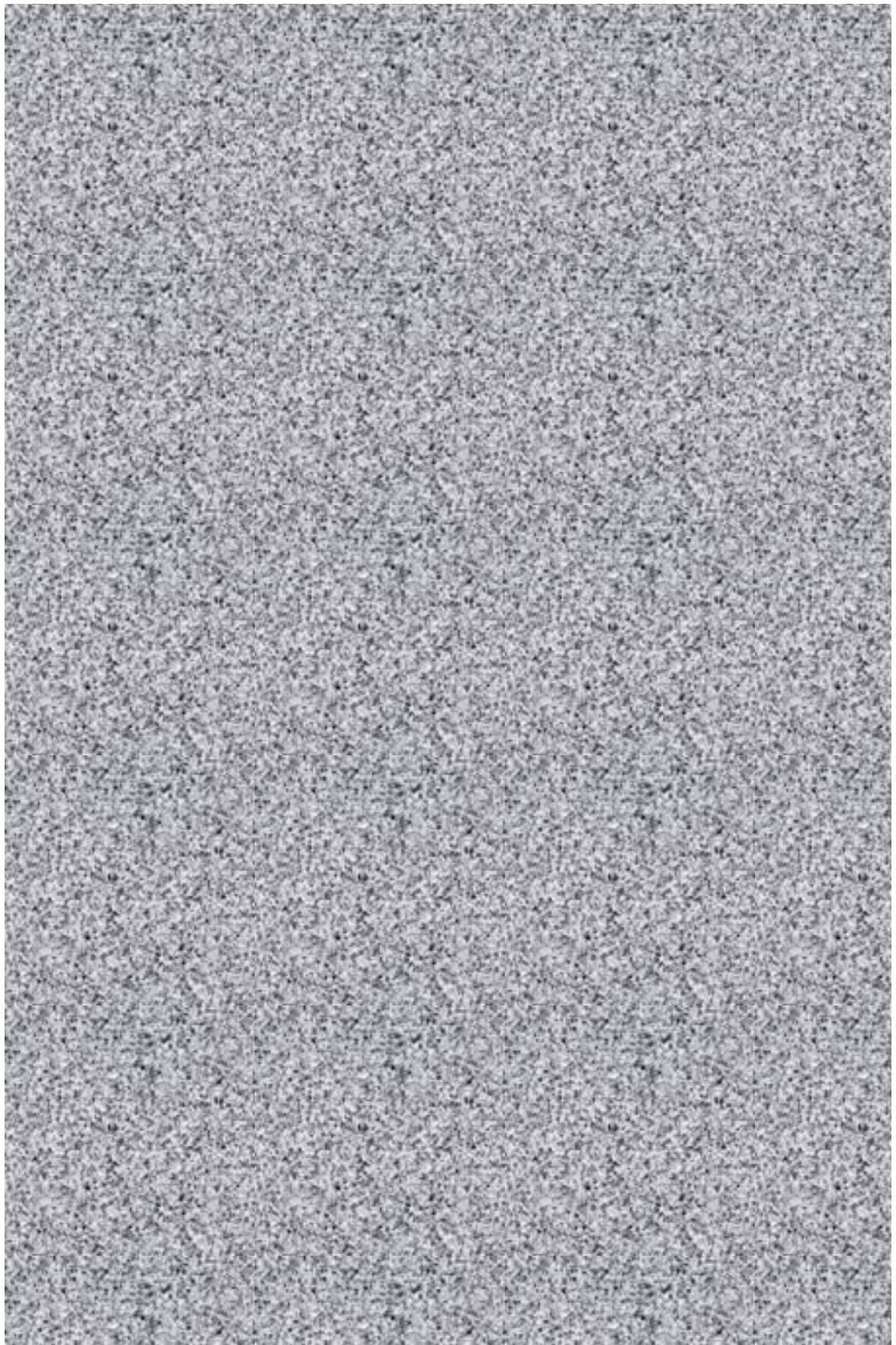
国語

(一〇〇点満点)

注意事項

- 一 この問題冊子は、八ページあります。試験時間は六〇分です。
- 二 解答用紙、問題用紙共に受験番号と氏名を正しく記入しなさい。
- 三 解答は、解答用紙の解答欄に記入すること。
- 四 問題冊子の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

受 験 番 号	氏 名



一 以下の問いに答えよ。(二〇点)

問1 次の傍線部の漢字をひらがなに直しなさい。

(1) 大気が汚染される。

(2) 新しい商品を扱う。

問2 次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1) シキョウヒンを配る。

(2) 線で力コむ。

問3 「得意である、誇らしい」という意味の慣用句について、次の()にあてはまる漢字1字を答えなさい。

（ ）が高い

一 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。(四〇点)

苦勞して頑張ってきたことをほめる目的で「〇〇までして頑張ってきた」という比喩表現があります。ところが、〇〇の部分に職業を入れれば、その職業に従事する人たちを貶めることおとしになるかもしれない、と意識することはまずありません。ほめる目的なので、そこにあがった職業を差別しようという意識は①毛頭ないのです。

私たちは普段の生活の中で、ことばを一つひとつ意識して使っているわけではありません。ある状況で使われることばを生活のなかで習得する際に、特段疑問を挟むことはないからです。

さすがにハラスメントという意識が高まったため、「女だてらに」「男まさり」「女々しい」ということばを使うことは、減ってきた

ように思います。問題は、疑問を持たずに習得したことばの中に、無意識の固定観念が潜んでいるということです。

二〇〇四年アテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずきさんが結婚した際の^②記事には、こうあります。

○日、野口みずきさんが一般男性と結婚したことが明らかになった。今後は家事をしながら、ランニングイベントに参加し、陸上競技の普及活動も行っていくという。

「今後は家事をしながらランニングイベントに参加」という表現について、男性ランナーだったら「今後は家事をしながら」などという表現をしただろうか、という疑義が新聞社内からあがりました。「家事＝女性の仕事」という（^①）に基づいた表現だという意見です。

今後はランニングイベントに参加し、陸上競技の普及活動を行っていくという。

とすれば、問題はクリアできます。ただし、「普及活動も行っていく」の助詞「も」は「家事をしながら」を受けているので、^③その部分を削る場合「普及活動を行っていく」と、助詞を「も」から「を」に変える必要があるかもしれません。

こうした指摘の一方で、^④野口さんの考えはどうだったのだろう、という気がするのです。もちろん、当時の野口さんの状況を詳細に知るすべはありません。そのうえで話を進めると、夫が家事を担うということはあるにせよ、野口さんが家事を仕事として認識しているなら、「家事をしながら」という表現もあるだろうと思うのです。

^⑤家事は夫も担うべき仕事です。「家事＝女性の仕事」という構図を作ることには、反対です。ただ、女性が家事をしていることに對して、一律にそれはジェンダー差別だとするのも、一方的な見方だろうと思うのです。野口さんが専業主婦として、家事を仕事として認識しているなら、これも個人の職業のあり方として認めるべきです。そういう観点からも、家事と陸上競技の普及活動について、どう考えているかを、^⑥野口さんの声として伝えてほしかったと思うのです。

（出典・前田安正「無意識の固定観念が生み出すひずみを見極める―枠を外してことばと向き合うために―」

（『日本語学2024 vol.43-1』明治書院）から）

問1 傍線部①「毛頭ない」のここでの意味として、ふさわしいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 頭の毛がある

イ 全くない

ウ 少しある

エ たくさんある

オ 毛根がない

問2 傍線部②「記事」とあるが、どの部分を指しているか。「記事」の指している部分を抜き出し、はじめと終わりの5字をそれぞれ抜き出さない。その際、記号や「、」や「。」も1字に数えることとする。

問3 (ー) に入るふさわしい言葉を文中から抜き出し、漢字4字で答えなさい。

問4 傍線部③「その部分」の指す内容について、ふさわしいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア ランニングイベントに参加

イ 陸上競技の普及活動

ウ 問題はクリアできます

エ 普及活動も行っていく

オ 家事をしながら

問5 傍線部④「野口さんの考えはどうだったのだろう」とあるが、筆者はどのように考えているか。ふさわしいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 野口さんが専業主婦として、家事を仕事として認識しているなら、「家事＝女性の仕事」という構図も個人の職業の在り方として認めるべき。

イ 野口さんが専業主婦として、家事を仕事として認識しているなら、「家事＝女性の仕事」という構図の考え方は全くふさわしく

ない。

ウ 野口さんがランナーとして、普及活動を仕事として認識しているなら、「家事Ⅱ女性の仕事」という構図の考え方であっても何の問題もない。

エ 野口さんが「家事Ⅱ女性の仕事」という構図の考え方であっても、ジェンダー差別にはならないので野口さんの考え方は認めるべき。

オ 野口さんが「家事Ⅱ女性の仕事」という構図の考え方であっても、ランナーとして普及活動を仕事としているのだから特に問題はない。

問6 傍線部⑤「家事は夫も担うべき仕事です」について、あなたの考えや意見と、その理由を50字程度で答えなさい。その際、記号や「、」や「。」も1字に数えることとする。

問7 傍線部⑥「野口さんの声」は、実際に野口さんが声を発しているわけではなく、例えとしてこのような表現をしている。この

表現技法を何と言うか、漢字2字で答えなさい。

三

次の文章を読み、以下の問いに答えよ。(四〇点)

クラス的女子は皆、もう寝てしまったらしい。誰の話し声もしなくなってからずいぶんたつ。「青少年自然の家」の一室は真っ暗で、ひなは黴臭い布団の中でひとり、ため息を吐いた。

「ライオンはありえないって。①あれ、絶対わざとだよ」

「中略」もう、ばれてるのにさ」

頭の中で大久保さんと中島さんの声がまだ響いている。

二人が話しているのを聞いてしまったのは入浴時間だ。大久保さんも中島さんも生理中のため最後のグループで、先にお風呂を済ませたひなが二人を迎えに行くと、脱衣所で話しているのが聞こえてきた。

大久保さんの声が先だった。

「さっきのキャンプファイヤーのとき、これって元々、何のためにするのかな、動物よけが目的だったのかなって話してたじゃん。そしたら新山にいやまが『今ライオンが来たら、やっぱりこわいもんね』って言ったでしょう。私さ、はあ？って思っちゃった」

そうそうと、相槌あいづちをうつ中島さんの声が続いた。

「私が『ライオンが日本にいると思うの？』って訊きいたら、わざとらしく驚いてさ、『えっ、いないの？』だって。ライオンが日本にいるかよー！」

ひなはもちろん日本にライオンがいないことを知っている。でも、ぎりぎりいけると踏んで言ってみただ。

それに、ひなが「いないの？」とびっくりした顔を見ると、二人はおかしそうに大笑いしていたからいけたと思った。けどあの笑いは、ひなのボケを笑ったのではなく、ニセモノぶりをあざ笑っていたのだ。

はあっと、ひなは

「」

ため息を吐いた。

これからどうしよう。ばれてるのだから演じるのはもうやめなくちゃいけない。

□

、天然ボケをやめてどんなキャラになればいいだろう。つつこみタイプの大久保さんと中島さん、それに天然のひなという三人でうまくやっていたのに。

いや、うまくやっていたと思っていたのは自分だけだったのかもしれない。今日だけでなく、二人はずっと以前から悪口を言っていたのかもしれないのだから。

考えてみれば、最初にひなのことを天然ボケだと言いだしたのはひな自身じゃない。二ヶ月前、中学に入学したばかりの、どの子とつるもうか、どのグループに入ろうか、クラスの女子全員が毎日^②腹をさぐりあっていた時期、女子のひとりがひなに尋ねたのだ。

「新山さん、どうして輪ゴムをはめてるの」

「え？」と、ひなは自分の手首を見た。たしかに輪ゴムをはめている。朝、食べかけのシリアル③の袋に巻かれていた輪ゴムをはずしたとき、手首にかけてそのまま忘れていた。ただそれだけのことだったが、話すとおばさんっぽいと、からかわれそうな気がした。

「あれ、いつのまに？もしかして新しいブレスレットだったりして……」

ごまかしながら輪ゴムを急いで取ると、相手は意外にも大笑いした。

「うそ、輪ゴムがブレスレット？」

今思うと、出まかせを本気で受け取るなんて、そっちの方が天然じゃないだろうか。

「聞いて聞いて」という声に、その場にいた子達が寄ってきた。

「新山さん、輪ゴムをブレスレットにしているんだって」

女子が言うと、ほかの子達もどっと笑う。ひなもつい調子に乗った。

「雑誌で見た気がするんだけどな。ほら、ホワイトバンド的なものっていうか」

「でも、輪ゴムはありえないでしょ」

周りにいた子達がまた声を合わせて笑う。その瞬間、皆、腹のさぐりあいから解き放たれ、^④幸せそうな笑顔になった。

お、これはいい。こんな風に笑ってもらえるのっていいかも。

そういえば小学校のとき、時々おかしなことをいっては笑われている子がいた。といっても馬鹿にされている訳ではなく、のんび

りとした子で皆から好かれていた。

それに比べると、陽気な性格だとひなは自分のことを思うのだが、根が単純なせいか軽はずみなことをして友達同士のいざこざに巻き込まれることが多かった。そのせいで小学校のとき誰からも口を利いてもらえない状況に陥ったこともある。

よし、これでいこう！ と、ひなは決めた。中学では天然ボケに変身するのだ。幸い、同じクラスに小学校時代のクラスメイトはいない。^⑤ キャラが変わっても疑われないだろう。 そうすればきつとうまくいくはずだ。

天然のふりをするのは案外、簡単だった。ふだんは暢気のんきな顔でにこにことした聞き役に徹する。それでたまにちろっと変わったことを言えば「また輪ゴムちゃんが出た！」と笑ってもらえた。

だけどだ。いつごろから疑われていたのだろう。天然のふりを始めてからひと月半、いまではこれが本当の性格だったのかもと考えるほど、自分では心地よかったのに。

（出典・魚住直子「魔法の時間」(『ピンクの神様』講談社) から)

問1 傍線部①「あれ」の指す内容について、ふさわしいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 新山ひなさんの頭の中で大久保さんと中島さんの声がまだ響いていること。

イ 入浴時間の際に、大久保さんと中島さんの二人が話しているのを聞いてしまったこと。

ウ 先にお風呂を済ませた新山ひなさんが大久保さんと中島さんの二人を迎えに行ったこと。

エ さっきのキャンプファイヤーのとき、これって元々、何のためにするのかなと話したこと。

オ 新山ひなさんが「今ライオンが来たら、やっぱりこわいもんね」と言ったこと。

問2

㋐

と

㋑

に入る言葉として、それぞれふさわしいものを次のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 決して

イ また

ウ けど

エ 加えて

オ つまり

問3 傍線部②「腹をさぐりあっていた」の内容を説明したものとして、ふさわしいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア つっこみタイプのキャラを演じようかどうか迷っていた。

イ 天然ボケのキャラを引き続き演じようかどうか迷っていた。

ウ クラスの中でうまく駆け引きをやっていたとおもっていた。

エ どの子とつるもうか、どのグループに入ろうか、駆け引きをしていた。

オ クラスの女子のひとりが「どうして輪ゴムをはめてるの」と尋ねた。

問4 傍線部③「忘れ」の品詞として、ふさわしいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 動詞

イ 形容詞

ウ 形容動詞

エ 助詞

オ 助動詞

問5 傍線部④「幸せそうな笑顔になった」とあるが、それはなぜか。ふさわしいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア おばさんっぽく手首にかけて、そのままにしていたから。

イ ごまかしながら輪ゴムを急いで取ったから。

ウ 出まかせで言ったことを本気で受け取られたから。

エ 調子に乗って、ホワイトバンドの話をしたから。

オ 皆、腹のさぐりあいから解き放たれたから。

問6 傍線部⑤「キャラが変わっても」とあるが、新山ひなさんは小学校時代どのようなキャラだったか。端的に示している一文を抜き出し、はじめの5字を答えなさい。

問7 あなたなら、新山ひなさんにどのような言葉をかけるか。新山ひなさんに実際に語りかけるように、「ねえ、ひな」から始まる文を40字程度で答えなさい。その際、記号や「」や「」も1字に数えることとする。

以下、余白。

